

# 結婚記念日祝う習慣を

## “地味婚”や“なし婚”に危機感

### 桂由美さん JJAに呼びかけ



(社)日本ジュエリー協会(JJA、丸山朝会長)の広報部会主催によりライオナル界の第一人者である桂由美さん(ユミカツラインターナショナル社長、(社)全日本ライオナル協会会長)を講師に招いてのセミナーが5月9日、東京・東上野のJJA会館で開催された。桂

由美さんがJJAの招きで講演するのは2001年以来的こと。桂由美さんは非婚化や人口減少の中で“地味婚”“なし婚”の風潮も出ていることに危機感を露にして、「百人百様の結婚式を掲げて日本の結婚式が世界で一番美しい」と言われるよう突っ走ってきた自らの歩みを振り返り、2001年にJJAに提案したのと同じく「アニバーサリーウエディング」を掲げ、結婚記念日を祝う習慣作りをともに行いたいと呼び掛けた。

桂由美さんは東京・小岩で洋裁・美容学校を営む母親の影響を受け、パリに留学、当時はライオナルファッションもない、い尽くしてあったが、「人

過程もさまざまなのに結婚式はワンパターンだった」ことに疑問を感じ、

国内外に活躍の場を広げて来た。最近の風潮には「何とかしなければならぬ」と考え、全国各地に「恋人の聖地」づくりを進めるほか、「ふるさとウエディングコンクール」などにも取り組んでいるが、結婚式場と披露宴が一体化した日本だけの様式の始まりにも触れつつ、45%は従来型の結婚式に背を向けている」と指摘した。

その上で桂由美さんがかねてから提唱している「アニバーサリーウエディング」については、「結婚記念日を祝う習慣作りを全業界を挙げ社会現象となるようにしたい」と強調、2001年当時を

JJA主催のセミナーと、講演する桂由美さん

振り返り「そのための協議会作りは百貨店など各業界団体は乗り気だったが、JJAはそれぞれではない様子だった」と残念な思いも明かした。

JJAでは現在、ジュエリー業界活性化のため消費者にどうアプローチしていくか、その方向性を模索している中でもあり、他業界とのタイアップについても枠をさらに広げていきたいと考えている。それだけに桂由美さんからの再度のアプローチを受け、どのように具体的アクションにつながるか注目される。

なお、桂由美さんの1年間の精力的な活動を記録したドキュメンタリー映画「桂由美マサオプザブライド」が5月31日から渋谷アップリンクで公開される予定。